

設立趣旨書

再生・移植医療に代表される先端医療技術開発やその基礎医学研究は、医療における社会貢献をその最終的な目的とする。しかしながら、その包括する課題は多岐にわたり、基礎研究から保険診療に導く臨床試験、患者・市民啓発・教育活動、学術交流・意見交換をはじめ、人材育成、医療提供に関わる環境整備に至るまで、問題が山積している現状である。

これらの問題解決のためには、一元化された支援の元、萌芽研究から医療提供に至る多角的で一貫性のある医療提供の実現を目指すべきである。現在まで萌芽研究から前臨床試験に至る多くの成果を発表してきたが、患者・市民啓発・教育活動、学術交流・意見交換をはじめ、人材育成、医療提供に関わる環境整備に至る資金獲得には、著しくその使途が制限された科研費や、都度毎の患者団体や大学・学術集会により申請・審査のもとに提供されてきたために、莫大な労力・時間・人員を割かれ、本来の先端医療技術開発活動を妨げる現状となっている。

そこで今回、先端医療技術開発やその基礎医学研究で再生・移植医療提供のために一元化された研究資金獲得をNPO法人再生・移植医療推進研究会で行い、研究資金獲得のために割く莫大な労力を軽減することによって、本来の目的である再生・移植医療の先端医療の技術や基礎研究における課題の解決を促進する。また、再生・移植医療、難治疾患をはじめとする医療提供の実現に向けて、今後は異種移植医療を見据えたOne Healthを含む社会環境整備を行うことも加わり、目指す再生・移植医療分野は多岐の領域にわたっている。そのため個々の助成対応では対応できず一元化された助成を募り、医療貢献実現に向けた公益性を育むことは特定非営利活動法人の設立に適うと思慮する。このような活動を行うことにより、慢性疾患患者や高齢者等の人々の健康の維持・増進に寄与し、社会貢献を目指すものである。

令和5年12月25日

NPO法人再生・移植医療推進研究会

設立代表者 住所

氏名 小玉 正太